

令和2年度事業報告

1 事業の概要

北海道内の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により飲食や観光業を中心に厳しい状況が続いていましたが、個人消費の一部に持ち直しの動きがみられ「低迷しているものの一部に明るい動きがみられる」状況にあります。

雇用情勢は、求人が減少しており、求職者の増加も相まって弱さがみられ、有効求人倍率が1.0倍を切るなど弱い状況が続いています。

そのため、当地方においても新型コロナウイルス感染症の影響がみられ、当センターの請負、派遣事業を合わせた受注額は前年度を大きく下回り、労働福祉センターの指定管理業務が終了するなど当センターを取り巻く環境も変化しており、その変化に対応しなくてはならない状況にあります。

そのことから、「会員増」及び「事業の拡大・多様化」について重点的に取り組むこととし、会員による一人一仕事開拓や役職員による企業等訪問活動に加え、北海道シルバー人材センター連合会と連携し「高齢者活躍人材確保育成事業」を活用した入会説明会をとおして、会員の就業機会及び会員数の拡大に努めました。

事業実績は、前年度に比べ受注件数及び受注額は大きく減少、登録会員数は微減で推移しています。

また、経費の効率的な執行に努めるなど、財政健全化へ取り組みを進めながら、登別市の協力を得て事業の適正な運営に努めました。

以下、各部会等が実施した事業について、報告いたします。

◎請負・委任

区分	令和2年度	2019年度	比較増減	対前年比
登録会員数	356人	378人	-22人	94.18%
受注件数	1,920件	2,159件	-239件	88.93%
受注金額	140,172千円	167,956千円	-27,784千円	83.46%

◎シルバー派遣

区分	令和2年度	2019年度	比較増減	対前年比
就業延人員	2,650人・日	3,203人・日	-553人・日	82.73%
受注件数	8件	8件	0件	100%
契約金額	14,377千円	17,687千円	-3,310千円	81.29%

2 事業の実施内容

総務関係

1 各種会議の運営

センターの業務執行決定機関である理事会をはじめ、各部会、委員会を適時に開催し事業の適正な運営を行いました。

- ・ 定時総会 令和2年6月25日(木) 場所 登別市労働福祉センター
- ・ 理事会 6回
- ・ 事業開発部会 6回
- ・ 安全就業委員会 6回
- ・ 会報編集委員会 16回
- ・ 総務部会 5回
- ・ 班長会議 2回
- ・ 就業調整委員会 5回

2 会員入会の促進

- (1) 会員と役職員で協力し合い、口コミ等による「会員ひとりが一人の加入促進」運動を引き続き実施し、会員入会の促進に努めました。
- (2) 毎月、「第2木曜日」と「第4水曜日」に『入会説明会』の開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため一部中止となりました。
- (3) 会員の入会促進を図るため、就業の開拓の取組みと併せて、新規会員、特に、女性会員の入会に努めました。
- (4) 高齢者活躍人材確保育成事業を活用した入会説明会を3回実施しました。
 - ・ 第1回 令和2年 8月 7日 鷺別公民館 講師：田原 咲世 氏
「人生100年時代のお金と暮らし、リタイア後の税金・年金・保険の話」
 - ・ 第2回 令和2年10月 8日 労働福祉センター 講師：中田 純子 氏
「60歳からの身だしなみ～心も体も元気の出るメイクアップ術」
 - ・ 第3回 令和2年12月10日 労働福祉センター 講師：川村 歩 氏
「人生100年時代へ向けて暮らしを考える！整理収納講座」

◎月別入会者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	1	5	0	2	3	1	1	1	0	2	2	3
女性	0	0	0	2	2	1	0	4	0	0	1	0
合計	1	5	0	4	5	2	1	5	0	2	3	3
男性：21名 女性：10名 合計：31名												

3 行政機関や各種団体等との連携

事業の円滑な運営のため、登別市や関係機関・団体等をはじめ、北海道シルバー人材センター連合会及び他市センターとの情報収集等に努めました。

4 情報の提供

インターネットや会報の発行、並びにボランティア活動など様々な機会を通じて会員及び

市民への情報の提供に努めました。

- (1) センターの事業計画書、収支計算書等について、一般の閲覧に供するなど情報公開に努めました。
- (2) ホームページの内容を随時更新し、より新しい情報発信に努めました。
- (3) 会報「よろこび」を年4回発行し、会員や賛助会員等に配布しました。
(4月号、7月号、10月号、1月号)
- (4) 市の公共施設等に、シルバー人材センターのパンフレットと会報「よろこび」を置き広報活動に努めました。
- (5) 市民との触れ合いやシルバー人材センター事業の理解を深めてもらうために、「第10回シルバーまつり(2020)」を計画しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。

5 会員組織の充実

センターの運営状況や事業活動、各種行事等をテーマに役職員、事務局そして会員との意思疎通を図りました。

- (1) 地区別懇談会を開催し、会員の意見要望を聴取して組織の活性化に努めました。

◎実施状況

期 日	場 所	班	参加人数
令和3年2月16日	登別市民会館	9・10・11・12・13・14・15	*中止
令和3年2月17日	労働福祉センター	1・2・3・4・5・6・7・8	28名
令和3年2月18日	鷺別公民館	16・17・18・19・20・21・22・23	33名

*悪天候のため中止

- (2) 地域班独自の懇談会や交流会等の開催にあたっては、センターの助成制度の積極的な活用を周知し、支援に努めました。

6 事務局の効率的な運営

事務局内における情報の共有化を図り、各種研修会等への参加によって、職員の事務処理能力の向上に努め、業務の円滑な運営と効率化を促進してまいりました。

- (1) 北海道シルバー人材センター連合会の主催する各種の会議等に積極的に参加し、職員としての資質向上に努めました。
 - ・2020年度一般廃棄物(ごみ)実務管理者講習 令和2年 8月25日
 - ・令和2年度会計担当者研修会 令和2年10月22日
 - ・令和2年度安全就業推進員研修会(オンライン) 令和2年12月15日
 - ・令和2年度安全就業指導員会議(オンライン) 令和3年 1月15日
 - ・令和2年度派遣実務担当者研修会(オンライン) 令和3年 2月17日

7 地域社会参加活動

地域社会に親しまれるシルバー人材センターを目指し、市民の理解・関心の向上のため、会員と役職員が協力し合い、ボランティア活動を実施しました。

(1) アイラブロード美化事業への参加

日 時 令和2年7月14日(火)

場 所 市道カルルス路線(労働福祉センター～陸上競技場)

内 容 花苗の植込み等

参加人員 37名

8 財政基盤の強化

財政基盤の確立を図るため、全国シルバー人材センター事業協会の要請活動と併せ登別市長に独自要請を行い、国、市からの補助金が増額されました。

令和2年9月4日(金)

9 基本計画の推進

令和2年度を初年とした計画の推進を図り、検証を行いました。

10 理事会の活性化

各部会、各委員会の組織運営の活性化に努め、理事の資質向上を図るための理事研修会を開催しました。

(1) 理事の他市シルバー人材センターとの研修会は実施には至りませんでした。資質向上を図るため独自の研修会を実施しました。

実施日 令和2年10月16日(金)

(2) 理事会と事務局との情報の共有化に努めました。

11 福利厚生事業の実施

要綱に定める慶弔事業を実施しました。

弔 慰： 3件

事業開発関係

1 仕事量の確保

事業の普及啓発と就業の確保・開拓に向けて就業開拓の促進に努めました。

(1) 「会員一人が一就業開拓」を合言葉に、会員各自がロコミ活動により会員の就業機会の拡大に努めました。

(2) 労働者派遣事業の一層の推進を図るため、北海道シルバー人材センター連合会と連携・協力のもと、会員の就業機会の拡大に努めました。

(3) 10月シルバーの日に、大型店舗前でパンフレット等を配布し、シルバー事業の活用と新規会員の加入促進を呼びかける啓発活動を行いました。

日 時 令和2年10月6日(火) 10:30～11:30

参加者 28名

・イオン登別店

557部 ・アーニス

279部

・コープさっぽろ登別桜木店 271部	・コープさっぽろ登別東店 90部
・トライアル登別栄町店 153部	・コープさっぽろイースト店 246部
<u>配布部数 合計 1,596部</u>	

- (4) 登別市広報紙にパンフレットを折込み全戸配布し、受注拡大と会員拡大等のPR活動を実施しました。(8月号、19,500枚)

2 就業機会の適正化

- (1) 会員の就業機会の公平化を図るため、可能な限り就業のローテーション化を図り、就業人員の拡大に努めました。
- (2) 公共施設の就業状況の実態把握及び就業上における改善点の有無等の確認のため、安全就業委員会と合同でパトロールを実施しました。一部の公共施設就業現場において改善が図られました。

実施日：令和2年11月24日(火)

実施施設：12ヶ所

- (3) 就業経験のない仕事へのチャレンジを呼びかけるなどミスマッチの防止解消に努めました。

3 会員の能力向上

- (1) 発注者から信頼される就業に向け、会員の技能・技術等の向上を図るための技能講習会を、安全就業委員会と合同で開催しました。

- ・第1回草刈講習会

新型コロナウイルス感染予防のため中止

- ・第1回剪定講習会

実施日：令和2年6月23日(火)

場所：西公園(登別市中央町3丁目)

講師：剪定班 舞良 義昭 氏

参加者：16名

- ・第2回草刈講習会

実施日：令和2年8月11日(火)

場所：大ホール及び陸上競技場周辺

講師：菖蒲機械 代表 菖蒲 宏 氏

参加者：17名

- ・第2回剪定講習会

実施日：令和2年9月29日(火)

場所：幌別東団地(登別市幌別町8丁目)

講師：剪定班 舞良 義昭 氏

参加者：15名

- (2) 剪定新規就業者の負担軽減策として初期投資器具の一部を期間限定で支援しました。

貸出：1件(脚立)

- (3) 新入会員がスムーズに就業できるように、接遇研修や就業相談を実施しました。

1回目 令和2年11月12日(木) 参加者 5名

2回目 令和3年 3月 2日(火) 参加者 6名

(4) 外部講師による全会員を対象とした、接遇研修を実施しました。

実施日：令和2年10月15日(木)

場 所：登別市民会館 大会議室

講 師：伊藤 美奈 氏

参加者：26名

4 自主事業の調査・研究

- (1) 新規事業、既存事業の発展・改善等に資するための、「会員提案制度」の積極的な活用に努めましたが、会員からの提案はありませんでした。
- (2) 生活支援事業の推進に努めましたが、業務拡大には至りませんでした。
- (3) 生活支援事業拡大のための女性会員増強策について検討しましたが、策定には至りませんでした。

安全就業関係

『令和2年度 事故防止重点実施項目』のスローガンを設定し、事故防止及び安全就業に努めました。

スローガン

《安全第一 事故ゼロを目指そう》

1 安全就業の徹底と事故防止

「安全は第一であり、すべてに優先する。」を合い言葉に、無事故を目指しましたが、飛び石等による物損事故2件、車両による物損事故2件、傷害事故2件が発生しました。

- (1) 安全就業実施計画を作成し、年間をとおして安全就業の推進を図りました。
- (2) 新入会員には、シルバー人材センター安全のしおりを配布しました。
- (3) 安全就業委員会において、安全就業委員及び安全対策推進員による就業シーズンの最盛期である7月から10月の繁忙期に重点実施期間を設け、安全パトロールを実施しました。

実施日：令和2年 7月16日(木)、令和2年 8月20日(木)

令和2年 9月17日(木)、令和2年10月16日(金)

令和2年11月24日(火)

場 所：市内12ヶ所

人 員：12名

- (4) 会員に対し、「安全標語」の募集・表彰を行い全会員の安全意識の高揚を図りました。
- (5) ヒヤリ・ハット体験事例の報告を求め、安全意識の高揚に務めました。
ヒヤリ・ハット体験事例 1件
- (6) 新規受注にあたっては、事前に発注者宅を訪問・下見を実施し、仕事の内容や就業形態等を確認してから会員への提供に努めるなど、会員の安全かつ適正就業の確保に務めました。

- (7) 作業中の安全意識を高めるため、安全ワッペンを就業会員に配布しました。
- (8) 事故を起こした会員には、事故報告書を提出してもらいました。
- (9) 各種講習会において安全一口講話を実施し、安全意識の高揚を図りました。
 - ・草刈り講習会：1回
 - ・剪定講習会：2回

2 安全就業普及活動の実施

- (1) 会員の安全就業啓発のため、定時総会時に併せて「安全宣言大会」を実施し、事故防止の意識高揚に努めました。

実施日：令和2年6月25日（木）
- (2) 全国安全週間及び安全就業強化期間に併せ、「安全宣言式」を実施し、安全確認の徹底を図りました。

実施日：令和2年7月1日（水）
- (3) 「安全だより」の発行を行い、安全就業に関する意識の高揚を図りました。

（4月号、7月号、10月号、1月号）

3 会員の健康管理

- (1) 会員の健康管理の徹底を図るため、健康診断の受診を奨励するとともに受診結果の報告を求めました。

健康診断受診者：234名 未受診者：25名
- (2) 登別市担当グループの協力を得て、会員の健康維持のための「健康講話」を計画しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止としました。
- (3) 登別市消防署の協力を得て、「救命・救急講習会」を計画しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止としました。

4 交通安全

交通事故防止のため、室蘭警察署の協力を得て「交通安全講話」を開催しました。また、登別市と連携して地域の交通安全啓発活動に参加しました。

- (1) 交通安全講話
 - ・実施日：令和2年11月19日（木）
 - ・場所：登別市労働福祉センター 大ホール
 - ・講師：室蘭警察署交通第1課企画規制第1係長 中鍵 正行 氏
 - ・講話内容：高齢者の交通安全
 - ・参加者：24名
- (2) 交通安全啓発活動（人と旗の波街頭啓発活動）

・令和2年 7月15日（水）	イオン登別店前	参加者	3名
・令和2年 9月23日（水）	登別市婦人センター前	参加者	4名
・令和2年11月13日（金）	幌別小学校前	参加者	3名

5 情報収集と自己研鑽

登別環づくり市民委員会（クリンクルセンター）が行っている安全衛生推進会議等に参加

加し安全衛生活動報告を行うとともに、他企業等との意見交換会に参加しました。

指定管理者としての施設管理

当センターが指定管理者として登別市労働福祉センターの管理に関する協定書に基づき、適正な管理運営に努めました。

有料職業紹介事業

有料職業紹介事業を実施しましたが、職業紹介には至りませんでした。

3 事故発生状況

(1) 物損事故発生状況

件数	発生日時	性別	事故の状況
1	令和2年 8月3日(月) 11:00頃	男	登別市幸町3-189付近の除草作業(機械)中に、道路向かいに駐車中の2台の乗用車に飛石し、ボンネット部分及び車体の塗装の一部を損傷させた。 (防護ネット未使用)
2	令和2年 8月20日(木) 9:45頃	男	登別市若草町1丁目「若草公園」除草作業(機械)中に、刈草積載作業のため車両を移動しようとして後退して切り返す際に、市道交差点付近に一時停止のため停車中の軽乗用車の左前方バンパーに衝突し、損傷させた。
3	令和2年 8月20日(木) 13:00頃	男	登別市富士町3-7-2の除草作業(機械)中に、路上に駐車中の軽ダンプ(シルバー人材センター保有)に飛石し、助手席ガラスを破損させた。(防護ネット使用)
4	令和2年 11月16日(月) 11:40頃	男	登別市新生町1-10-1へ車検車両を取りに行き、車両を搬送車に積載する際にアクセルを強く踏みすぎ、搬送車の荷台部分に接触させ車体の一部を損傷させた。

(2) 傷害事故発生状況

件数	発生日時	性別	事故の状況
1	令和2年 9月30日(水) 9:45頃	男	登別市常盤町3-26「市営緑ヶ丘団地」駐車場除草作業(機械)中、防護ネット操作中にネット下部隙間から足が出ており、刈り払い機の刈刃が左足薬指に接触し、左足薬指を三針縫う切傷を負った。
2	令和3年 3月11日(木) 13:30頃	男	登別市幌別町7-22-1工場敷地内入口の看板(高さ約3.5m)を取り外そうと脚立にまたがり(高さ1.45m)解体作業中に、看板(重量約10kg)が風にあおられ落下し

		脚立にぶつかり、脚立が倒れ足から落下し左足かかるとにひびが入った。
--	--	-----------------------------------

(3) ヒヤリ・ハット事例

件数	発生日時	性別	事故の状況
1	令和2年 8月25日(火) 14:30頃	男	登別市富浦町「登別市葬祭場」の除草作業中、乗用芝刈り機を方向転換のため後退した際に、路肩の軟弱部分に乗り上げ乗用芝刈り機が後ろ向きのまま法面を約3m滑り落ちた。 (地盤の強度の確認不足、後退時の周囲の確認不足)